

ボルグワーナー、P3ドライブモジュールで 大型受注契約を獲得

- 同モジュールに投入された、ボルグワーナーの高い技術とシステムインテグレーションノウハウを実証
- 独自のコンパクトなシステムにより、ハイブリッド化とCO2削減を実現
- 複数のプラットフォームに採用、生産開始は2023年8月の予定

革新的で持続可能なモビリティソリューションを自動車業界に提供するボルグワーナー（本社：アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者：フレデリック・リサルド/Frédéric B.Lissalde）は、完全に一体化されたボルグワーナー製 P3 ハイブリッドドライブモジュールが、パフォーマンスを製品の特徴とする欧州 OEM に採用が決定したことをお知らせします。今後、数々の前輪駆動および四輪駆動 SUV に搭載される予定です。独自の技術を誇るハイパワーP3 は、ボルグワーナーが顧客の要件に合わせ、全て自社で専用開発したソリューションで モーター、パワーエレクトロニクス、ギア、水冷システムなどすべてのコンポーネントを1つのユニットに一体化させており、大幅な燃費向上とCO2削減を実現します。

最新のドライブモジュールの主要な特徴として、ボルグワーナーが新設した専用コンポーネントの永久磁石モーターと相補型インバータを挙げることができます。特許取得済みの実績ある技術の S 型巻線成形プロセスは、電気モーターやオルタネーター用に開発されたもので、今回のモーターにも採用されています。その結果、同モジュールは最大出力 25kW を発生しつつ、CO2 排出量を大幅に削減することができます。P3 モジュールは、コースティングとエネルギー回生のどちらにも対応します。

また、複雑なシステムインテグレーションのための要件を満たすため、ハイブリッドドライブモジュール用の複雑で高度なソフトウェア制御システムを自社開発しました。さらに、強化された熱特性やパッケージングにおいてユニットを完全に最適化し、騒音、振動およびハーシュネスを低減しました。

P3ドライブモジュールの生産開始時期は2023年8月を予定しています。コンパクトで軽量のソリューションは、さまざまな車両に動力を提供します。P3ドライブモジュールに加え、想定されるあらゆるハイブリッドや電動化アーキテクチャに適合できるように、ボルグワーナーは広範な製品ラインナップを備えており、自動車市場に革新的で持続可能なモビリティソリューションを提供する主導的地位をさらに強化しています。独自の技術を誇るハイパワーP3ドライブモジュールは大幅な燃費向上とCO2削減を実現します。顧客の要件に合わせてボルグワーナーが全て自社開発しました。

ボルグワーナー・パワードライブシステムズの社長兼事業本部長のステファン・デメール博士は、「バッテリーからの入力電力から車両を駆動する出力トルクまで、すべてをシームレスかつ効率的に、しかも確実に制御する。これを P3 モジュールのような一体化された電動システムで実現するのは容易なことではありません。高性能ハイブリッドを実車に適用するためのプロセス、システムエンジニアリング、ソフトウェア、そしてこれらを統合するために必要な専門知識など、最新のドライブモジュールは、こういった包括的ノウハウを当社が備えていることを実証する好例です。お客様から提示された要件を満たすには、極めて限られたスペースで非常に高い性能レベルを発揮する必要がありましたが結果的には、出力密度の高い、完全に一体化されたシステムソリューションとなりました。今回の開発プロセス全体で得られた技術の進歩は、今後の完全一体型システムによるソリューション開発の基礎となります」と述べています。



大幅な燃費向上とCO2削減を実現し、顧客の要件に合わせて全て自社開発した ボルグワーナー独自の技術を誇るハイパワーP3ドライブモジュール

ボルグワーナーについて

ボルグワーナー (NYSE: BWA) は、自動車市場に革新的で持続可能なモビリティソリューションを提供する世界有数の企業です。OEM 向け純正品で培ったノウハウを活かし、グローバルアフターマーケット市場にもトップクラスの製品やサービスソリューションを提供しています。世界 23 カ国 96 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 50,000 人の従業員を雇用しています。詳細については、borgwarner.com をご覧ください。

本プレスリリース(以下、本「リリース」)に記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995 年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれる、または言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の 2020 年 12 月期の Form 10-K 年次報告書(以下、「Form 10-K」)の第 7 項「重要な会計方針 (Critical Accounting Policies)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、本質的に将来予測です。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と知見を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、COVID-19/新型コロナウイルスに関連する事態が及ぼす影響の範囲および期間に関する不確実性(さらなる製造停止等)、2020 年 10 月 1 日に完了したデルファイ・テクノロジーズ社の買収から期待される利益の不実現、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測不可能な

債務の可能性、2021年6月4日に完了したAKASOL AGの買収による期待された利益が実現しないこと、必要な規制当局の承認が得られないこと、または提案されている取引のその他の条件が満たされないこと、提案されている取引の期待される利益の未実現、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右される)への当社の依存性、大手OEM顧客への当社の依存性、商品の入手可能性および価格、供給停止、金利の変動および外貨の為替レートの変動、与信枠、主要経営陣への当社の依存性、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、さまざまな損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における関税など将来の法規制の変更、直近のForm 10-Kの第1A項「リスク要因(Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスクが挙げられます。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、浜辺

TEL: 03-6260-4854

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp